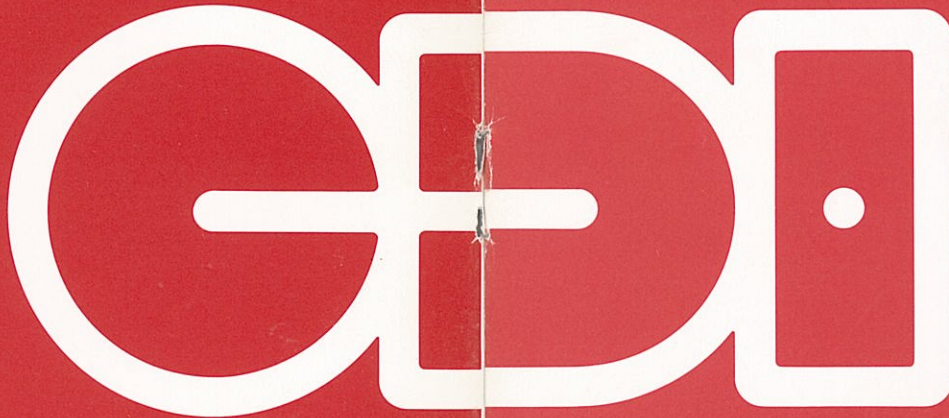


# Corporate Directions, Inc.



経営・戦略コンサルティング専門集団

## プロローグ

### 創造的活動を目指して

『真の創造的活動というものは、単なる破壊の論理や、反常識の論理に終始して実現されうような、そんななまやさしいものではない。外形的、ないし現象的には過去から受け継いできた蓄積遺産に対する否定的側面をもちながらも、内容的ないし本質的には前提となるべき歴史的遺産のより高次元における再構成の論理を併せ含んでいるものでなければ意味をなさないものである。』

例えば、現状の技術的な常識を否定する形をもって現われた新技術の出現は、同時に、過去の技術史的蓄積や遺産によって、その多くの部分が、しっかり支えられているのである。このように、創造的活動の第一段階で発現する現象面での反権威、反常識的な行動は、次の新段階にまで継承しなければならない歴史的遺産の内容と、逆に温存し続けてはならない歴史的廃棄物とを選別する能力を、十分に獲得していなければ意味をなさないものとなるのである。』

(市川 亀久彌(創造工学))

### 人材開発を目指して

『「学ぶ」とは、「世界」が変わることである。リアルな世界、リアルでない世界、遠くから離れ眺めていた世界、近づいてよく見ていた世界、根づいた世界、上空から眺める世界、その人にとっての「過去」の世界、「現在」の世界、「未来」の世界、そしてそれぞれの世界から眺めた他のもろもろの世界、こうしたもろもろの世界を経験することによって、そのような無数の、さまざまな世界の分化と統合が起こり、その人の「1つの世界」が、多様で豊かになっていくこと、それが「学ぶ」ことなのである。その人の「世界」が変わることは、また、その人が変わることであり、その人の「自我」が変わることであることは、もう多言を要しないであろう。(中略) こう考えてくると、「学ぶ」とは、すなわち、「世界」が変わることであり、「自我」が変わることなのだ。』 (吉田章宏 現代の心理学第3巻第5章)



社 名：株式会社 コーポレイト ディレクション  
Corporate Directions, Inc. (略称CDI)

代表取締役：吉越 亘

取 締 役：岸本泰廣  
瀬古静市

資 本 金：5,120万円(設立当初)  
8,000万円(昭和61年3月予定)

年 商：3億円(初年度予定)

設立年月日：昭和61年1月21日

所 在 地：東京都文京区本郷4-12-16-311  
(TEL.03-815-3544)

事 業 内 容：産業及び事業経営に関する市場調査・分析の受託  
事業戦略立案及び実施方法並びに組織・体制  
に関するコンサルティング業務  
事業戦略遂行のための人材派遣と人材教育

社 員 数：19名(役員を含む・昭和61年3月予定)

取 引 銀 行：住友銀行芝支店  
第一勧業銀行本店  
三和銀行渋谷支店  
三菱銀行麴町支店

株 主 構 成：CDI役員・社員52%  
その他 48%  
(昭和61年3月予定)



代表取締役  
吉越 亘

京都大学工学部卒。同大学工学修士。マサチューセッツ工科大学工学研究所 (CAES) フェロー。東京瓦斯株式会社ならびに株式会社ボストン コンサルティング グループ (プロジェクト マネジャー、経営会議委員) を経て現在に至る。

東京瓦斯株式会社の技術開発及び全社企画部門での経験を経て、経営戦略コンサルティングの世界に入り、以来巨大企業の多角化戦略をはじめ、数多くの事業戦略立案において大きな成果をおさめてきた。最近では、先端技術開発、都市再開発、金融革命等に関心をもち、企業変革メカニズムの研究を手掛けている。流体力学、土質工学分野での国内・外の論文をものし、また、現在でも京大 山岳部のパイオニア・ワークの精神を拠にしている。

経営トップは孤独であると言われる。過去のコンサルティング活動から見て、これは正しい。では、ミドルは？ミドルも孤独である。社内改革の青年将校は孤独である。営業最前線の課長も、商品設計グループの総括も、新規事業の次長も、営業計画室の室長も、時には総合企画部長も、また。

欠陥商品の上市を長時間を経て知悉した社長は、孤独であったかも知れない。しかし、本当に孤独であったのは、事実気がついてきたミドル諸氏であったのではなかろうか？

経営・戦略コンサルタントの真の役割とは、トップの考えとミドルの考え、トップの考えとミドルの行動とを合致させる触媒として機能することに尽きる。この際、変更はトップにもミドルにも求められる。経営・戦略コンサルティングに必要な第1の要件は、企業進化を阻害する要因を洞察し、その本質を表現することである。次に、こうした問題認識と社内コミュニケーションの準備を踏まえ、企業変革のための明確な企業指針を創造することが必要となる。

企業指針 (Corporate Direction) とは、市場に対して自社がどのようにすれば、よりよい結果が得られるかという仮説である。従って、第2の要件は、企業変革の仮説創造と行うことができる。最後に、考えたこと (仮説とは、思考上の帰結である) を行動に移すには、行動指針が必要となる。どのような行動指針が自社の行動様式に最も適しているかを、具体的に提言し、実際行動の支援を行なうことが第3の要件となる。

もし、これが実現すれば、企業の考えと行動とは、痒いところに手が届く関係となり得るであろう。その結果として、企業環境の変化に対する適応度は数段強化されるに違いないし、競争企業に対する競争優位が保持・改善されることになる。上述の3つの要件全てを満足する経営・戦略コンサルティングを目指して、新たな出発をしたのが、Corporate Directions, Inc. である。

私どもの経営戦略の経験を核として、TQC、マーケティング、ファイナンス、M & A および CI 等の分野で有力な諸集団と協力提携を行ない、広範なコンサルティング・ニーズに対応する所存である。このような広範なコンサルティング活動に関する種々の側面、例えば、ミクロとマクロ、分析と統合、ハードとソフト、和の心と洋の心、概念と実際、等の種々雑多を実際のコンサルティング活動を通して、さらに創造的で人材開発的たらしめること、これが私ども CDI の真の挑戦課題である。



取締役  
プロジェクト主査  
岸本 泰 廣

東京大学工学部卒。コロンビア大学  
管理工学修士。同大学経営学修士。  
株式会社ポストン コンサルティング  
グループ(プロジェクト マネジャー)  
を経て現在に至る。

日本政府・英国政府等の政府機関  
および多くの多国籍企業に対する、  
国際的戦略問題を手掛けてきた。  
国内においては、サービス業の戦略  
問題を主に取り組み、金融関係、  
ニューサービス関係分野のプロジェ  
クトを指向している。

株式会社ポストン コンサルティング  
グループ(前経理部長)を経て現在  
に至る。

株式会社ポストン コンサルティング  
グループ創立以来、経理・総務・財  
務関係の仕事に従事し、今後もCDI  
の経理・財務面の指導を行う。  
我国合気道界のリーダーでもある。

取締役総務部長  
瀬古 静 市





プロジェクト主査  
松山 秀雄

東京大学工学部卒。同大学工学  
修士。

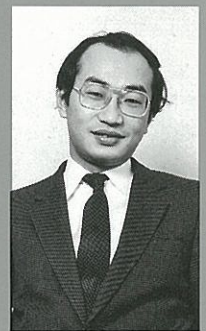
株式会社ポストン コンサルティング  
グループを経て現在に至る。

TQC・組織・情報システム問題等、  
現業サイドでの活動経験も多い。  
コンサルティング活動のかたわら、自  
ら事業経営を実践している。

ワシントン大学経済学部卒。同修士  
課程終了。シカゴ大学経営学修士。  
山武ハネウェル株式会社および株式  
会社ポストン コンサルティング グル  
ープを経て現在に至る。

経営戦略全般を手掛け、最近は特に  
技術戦略および財務戦略に強い関  
心を持つ。

プロジェクト主査  
澤田 宏之





プロジェクト副査  
山田新一

東京工業大学工学部卒。同大学経営工学修士。  
株式会社ポストン コンサルティンググループを経て現在に至る。

コンピュータ関連において多くの経験を有し、戦略と情報の融合に強い関心を持つ。

東京大学経済学部卒。  
株式会社ポストン コンサルティンググループを経て現在に至る。

金融・家電・食品・繊維等、多くの業種を経験し、多角化・財務分野に関心を持つ。

プロジェクト副査  
伊能和枝





プロジェクト副査  
木村 節夫

京都大学理学部卒。同大学工学  
修士。  
株式会社ポストン コンサルティング  
グループを経て現在に至る。

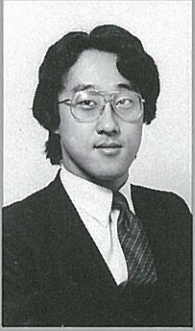
半導体等最先端技術の分野におい  
て多くの経験を持ち、自ら開発プロジ  
ェクトのリーダーとして活躍を続けて  
いる。

一橋大学商学部卒。  
株式会社ポストン コンサルティング  
グループを経て現在に至る。

新規事業戦略を主に手掛け、特に不  
動産事業および住宅関連事業にお  
いて、多くの経験を持つ。

プロジェクト副査  
各務 茂夫





プロジェクト副査  
石井 光太郎

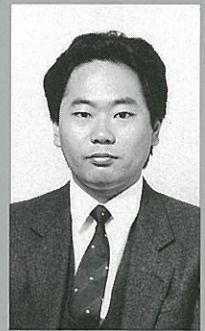
東京大学経済学部卒。  
株式会社ポストン コンサルティング  
グループを経て現在に至る。

巨大単品型企業の多角化戦略およびその企業文化の解明に関心を持つ。金融関連のプロジェクトも数多く経験している。

東京大学法学部卒。司法試験合格。  
株式会社ポストン コンサルティング  
グループを経て現在に至る。

社会の枠組としての法律を意識しつつ、現実的側面である経営上の諸問題に取り組んでいる。

プロジェクト副査  
富山 和彦







プロジェクト主任  
ほてはま  
保手濱 充 啓

東京大学法学部卒。

経営・戦略コンサルティング業界に飛び込み、将来、家族とともにベンチャー企業の経営を希望。

Corporate Directions, Inc.

